

日六十月三

# 常盤每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
廣告料 五字一行 一日一元 三日二元 五日三元 七日四元 十日五元  
日曜 祭日 休刊  
發行所 常盤每日新聞社  
印刷所 常盤每日新聞印刷局

## 迷信より正信へ

真 繼 雲 山

迷信は排すべきも無信にまさる。迷信はやがて正信に轉じ入るの階梯であり得るも無信には附ける藥がな

人の死して『哀號』と泣く朝鮮人の涙には、宗教への響きをもつも人生の一大事に會して『メーフワーズ』やツしまつたの意といつて手を放した支那人は、あとはケロリカンでお仕舞ひである。親が死んでもメーフワーズ。船が顛覆してもメーフワーズで片づけける支那人に宗教の世界はない。狗子佛性は鬼に角として犬猫に未來觀ありやは疑はしく、永遠への思慕なきものは木石にひとしい。

信とは何ぞやといふに迷信家と正信家とは、その所見が異なる信の意味が正しく理解されたならそれが正信であるも、世上多くは迷信の信に墮し易い。信とは普通に、信用または信認などと續く字である筆を見て筆なりと信する必要はなく筆が著か分らぬ場合に信の問題は生れる。信は疑ひを前提とする場合に必要なので、疑ひなく信するに及ばず、また知り得ば、信するに及ばぬ理知的にみて信

とは経験または他の教へにより智慧の不足分を補はんとするはたつきである。佛を信するといふも亦た然りて眞に佛を知り得ば信する必要はない。たゞ佛とは凡人に取つて未知未經験の世界であるゆゑ信の問題は起る。故に佛を信するは知るに如かぬ知るは見るに如かぬ、この故に經には『自らの身命を惜まざして一心に佛を見たてまつらんことを欲せよ』と訓へらる。然らば佛を信じたならば如何なるぞといふ佛を信じ切つて仕舞へば疑ひはなくなる疑ひなくば信するの要はなきゆゑ、本統の信には、信を必要とせぬ。その信不信の二念をはなれたところが本統の信である。

これを例ふれば、女房の

### ノート

料金が安いとて黄金に似た代用品の義齒をすること危険のため銅が滲み出ると怖い中毒症状を起す。

貞操を信ぜねばならぬ亭主は不幸といふべく、眞に女房を信するものはたゞ疑ひないだけである。この故に親鸞聖人は、彌陀の慈悲を信せよといはせられず、たゞ如來の本願を疑はずと申

されてゐる。

正しき宗教にいふ信の意味はまことである。入信とは佛のまことをこたへなくとである。佛のまことと一味なることを得ば信疑は問題でなく、門前の閑葛藤に過ぎぬ。然るに未信者、迷

### 明日の献立

- 【朝】薄くす汁―八はひ豆腐 かくしらす おとし 生姜
- 【書】五目飯―糸こんにゃく 油あげ ごぼう もみのり
- 【晚】すまし汁―短冊うどん 鶏卵とじ 水からし

の力が進めばそれは春の残雪のやうに消える。正見、正思性によりて理智の光りに徹し、乃至、正念、正定し得たのが悟りであり、斯くして實相を證し得ば生死迫り萬山くづるゝとも露微塵のゆるぎはないであらう。その正覺の理智の光りこそ日々夜々に當人の實生活を導いてくれる力となる。

迷信にも若干の同情をもつ筆者はそれを去つて無信に還れといはざるも希ふらくは假設迷信のつぼを出で、正信の光明界に轉出せねばならぬ想像を拂ひ妄念を拂ふて人法二空の實相に徹したところが眞の成佛境である。 【完】

### 園児募集

一、募集児 六拾名  
一、規則書 希望者は當園に申入れ  
一、入園期 四月五日

平町材木町



正札堂

イヤ！君！  
いゝ冬服を求めたね  
断然三三年型だよ  
いやコレカネ！  
……例の「ソレ」

四六三電通場車停目丁四平

### 平信榮幼稚園

一、募集児 六拾名  
一、規則書 希望者は當園に申入れ  
一、入園期 四月五日

平町材木町

### 愛國シンシンの現出

世界に類なき

#### 特價一臺金參圓五拾錢

#### △家庭裁縫の簡易化

一般家庭に於てミシンの便利重寶なる事は皆さんの御承知の通り其の需要を要求して居りましたが従來のミシンは數十圓數百圓の高價の爲め一般家庭用として購入出来ませんでした。今般斯界の大家田島先生の數ヶ年の苦心研究によつて斯く大衆向の愛國シンシンの完成され然も突飛的の定價にて従來のミシンと遜色なく便利で各御家庭には必ず常備として一臺なくてはならぬ様になりました。本機の使用方法は極めて簡單で御子様方でも三十分位の練習で自由に和洋の御仕立が出来ます(御注文は代引又は前金に願ひます。送料實費)

#### ●外交員募集

石城郡 下代理店 平驛前 多賀郡

### マルカ

店主 加藤 正保  
電話 三二番

### 生徒募集

一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年  
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス  
一、申込期日 四月八日迄

### 平町一丁目 石城 產婆 學校

校長 鷹崎 千代  
電話 三五七番

### 鹽 豚

### 肉 蒲 鉾

田町 三三三屋

# 上級進學の

## 磐中合格率は

今の處頗る好成績

磐城中等學校本年度卒業生鈴木次男君は此程東京高等齒科醫學校の入學試験に合格したが本日迄の上級學校入學試験は海軍兵學校一名、陸軍士官學校一名、本縣師範二部五名、臺灣師範二部一名、盛岡高等農林一名、東京高師一名、米澤高工一名、計十二名にて今分の處では例年に比較し合格率頗る良好である

## 二毛作堆肥品評

出品點數二百五十餘點

石城郡農會主催二毛作堆肥品評會は本日午前十時より團體事務所樓上に催され出品點數二百五十餘點に及んだが審査並に賞品の授與式は来る廿一日である

豐間信用總會 石城郡豐間村信用組合總會は昨十五日午後一時より村役場に開會餘額金預入先は農工銀行に決定理事の補欠は遠藤誠氏が就任した

## 磐女を築立つ才媛

優等生は六名

磐城高等女學校第二十一回卒業式は来る十八日午前九時より舉行されるが優等生は

- 四倉町 鈴木 エイ
- 平町 根本 正子
- 同 猪狩 京子
- 同 馬目 イホ
- 内郷村 荒垣 トヨ
- 平町 橋本 テル

の六名にて此内鈴木エイ子は特に學業操行共に優秀の技を以つて大日本聯合人會から賞與される事になつ

た、因に同女は四倉町漁業家鈴木賢治氏の長女で東京高等女子師範に入學する志望の處不幸にも去る一月母が死去したので今後は父親を補け三人の弟と一人の妹の養育に當る由であるが尚卒業生氏名左記の如くである(○印は四ヶ年無缺席)

- 好子 ○猪狩京子 ○猪狩タケ 井坂清子 ○石井滋子 石川キヨ子 石田美代子 石堂絢子 泉マサ子 伊藤タカ子 伊藤マチ子 内村緑 梅崎ハル 梅原道子 ○江尻皓子 江尻ハツ 遠藤捷子 ○遠藤ナカ 大内キ子 ○大越ふみ 大須賀サダ 大杉スミ ○大津喜美子 ○大原喜子 大峰ハル子 岡田三榮 ○猪狩ミネ子 小川ミキ ○荻原幸子 長千枝子 小野コト 小野美子 片寄フクヨ ○加藤文子 金子達子 神谷保子 河田シゲエ 川又カネ 菅野壽子 ○木田トキ ○北村幸子 ○草刈はな 草野山 草野チヨコ 草野知代子 草野敏子 河レイ子 ○齋藤恒子 酒井キヨ ○酒井節子 ○酒井福子 坂本千代子 佐々木ささ 佐々木英子 佐藤喜美 佐藤定子 ○佐藤タマ子 佐藤トシ ○四家ヨシ ○四家麗子 ○實川美野子 ○篠原壽子 下山田ケフ 下山田タイ 白土静枝 菅本シメ 杉下薫子 ○鈴木エイ 鈴木キエ 鈴木喜美子 鈴木きみ ○鈴木清子 鈴木キワ子 鈴木シヅ ○鈴木シモ 鈴木鈴枝 鈴木チエ子 鈴木良枝 首藤テイ 藤内敏子 關田さゆゑ 袖井ミサヲ ○齋部正子 大勝榮子 ○高梨ら 高橋カツエ 高橋キミ子 高橋八重子

- 田邊ハヤ子 ○玉川きみ 田村もゝ子 ○田原チヤ子 俵れい ○丹野郁 丹野ハマ 戸石きぬ 戸石ツル 戸田光子 富岡千代 富田美津 永井ユキ子 永久保ツユ ○長瀬タマエ 長瀬壽中野節子 永野昌子 中村フジ子 新妻倭文子 新妻トシ 新妻宣子 ○新妻富美 根本ケイ 根本ハルヨ 根本正子 ○根本ヨシエ ○野上トミ子 野上ミサ子 野木キク 野村勝枝 ○橋本五九子 橋本テル 畑芳枝 ○半谷まさよ 引地禮子 久田ミサ子 飛田トミ子 平田チツ 蛭田ナツ 蛭田フク 廣田トシ 福澤たつの 逸見コト 堀ミイ 眞岡行 牧田琴 政井スサヨ 松繁八重子 松本テイ 馬目イネ 馬目シン 馬目美喜子 並山玉子 緑川シナ 緑川シマ 三森芳 武勝八重 ○渡邊キヨ 渡邊千嘉子 渡邊敏子 渡邊トミ 渡邊治子 渡邊ユキ

## 本日決定した

### 磐中試験委員

入學志望者は昨報の如く三百六十七名にて来る二十六日、八の三日間入學試験執行されるが試験委員は左の如く本日決定された

- (人物)橋本校長(國語)今山名 廣木 河野 大村 樋口(算術)梶原 渡邊 鈴木 谷澤 下平 米澤(地理理科)梅森 廣田 高清水 大橋 本多 吉田 中島

## 編入試験

廿四日から

磐城中等學校に於ける本年度各學年への編入試験は来る二十四日より三日間行はれるが本日迄の志願者は二年十二名、三年十名で昨年と大差ないと

## 平商野球部

陣容立直し 平商業學校野球部の根本寅雄、隈川幸夫、星野嘉一、鈴木道夫四君は本年目出度く卒業したので

- 平町 人 事
- 回出 生
- 町六八 神谷八郎氏長 女ヨシ子

回婚 姻  
△田中一 沖野林藏氏(五〇) 信夫郡水保村字前田 若月いち(五五)

回死 亡  
△大工町一八 菅野イシ(七六)

## 復興生徒募集

第五年 壹百名  
第一學年 若千名  
第二學年 若千名  
入學資格 小學校卒業以上  
出願期日 四月四日迄  
新學期開始 四月四日

私立磐城青年學校  
創立明治四十年 規則書申込次第進呈

## 陽女學校 入學案内

文部大臣 陽女學校 入學案内  
一、入學生徒募集人員  
本科(修業年限二年)五十名 師範科(同上)三十名  
技藝高等科(同上)五十名 技藝普通科(同上)五十名  
専攻科(同一年)二十名 専修科(同一年以上)五十名  
一、授業料値下と各科の授業料  
本校は經濟界の不況に鑑み各科授業料の値下を斷行しました

本科一圓五十錢 師範科一圓五十錢 技藝高等科一圓三十錢 専攻科一圓五十錢 技藝普通科五十錢 専修科一圓  
一、入學手續  
志願者は入學願書に履歷書を添え三月三十一日迄に本校宛提出して下さい  
受附順により入學を許可致します

石城郡 平町  
文部大臣 陽女學校  
附設 平陽家政女學校  
電話 四四五番  
振替口座仙臺五六八二番

吉田眼科病院  
平陽町 電話 六八八番

### 新威力の...

### 自動車唧筒新臺

### 四月上旬頃到着

既報平消防組では過般の町會で決議された自動車唧筒購入に就き豫てより消防幹部、警備委員等が各自動車製作所と交渉中の處此程町長消防幹部警備委員等立會の上福島モーター平支店を通じてシボレー本社より六千圓の自動車唧筒を購入する事に決定四月上旬納入を見る事になつたので同組は此機を迎へて新威力を増す

### 倉庫に...

### 忍入り

### 銅線を窃取

石城郡赤井村字西小川古物商西徳太郎方倉庫へ十四日午後十時頃忍入り裸銅線千二百尺時價四十二圓餘を窃取逃走せる犯人があるのので届出に依り目下平署で捜査中

### 小川村長の引責辭職後任

### 四倉前町長が臨時就任

石城郡小川村では過般救事業の不正事件暴露し村長白井菊造氏は此程引責辭職したので後任人選中の處前四倉町長杉原新吾氏が十四日付を以つて臨時村長に就任決定を見た

### 倉庫現業員

### 事務打合せ

東京鐵道局管内常磐線各駅の倉庫現業員事務打合會は昨十五日より三日間内郷村磐城炭礦職員俱樂部に於いて開會東鐵より平山經理課長三坂倉庫課長其他が出席した

### 鈴木氏が寄贈

町鈴木重助氏は三女さみ子さんが本年磐城高等女學校を卒業するので今迄の二人の愛娘と加へて三名卒業した記念に本日學校に青銅大型花瓶を寄贈したと

### 訓盲院に補助

訓盲院には此程文務省より本年度教育費補助として金三百四十三圓を交付された

### 鮫川江筋の改修

### 盛大な起工式を

既報石城郡植田町外四ヶ村水田八百町歩を灌溉する鮫川江筋改修工事は總工費三十三萬圓を以つて本月下旬より着工する豫定に付き縣土木課堤技師は来る十八日より一週間に亘る實地測量を行ふが同江筋組合では廿七、八日頃上遠野村地内鮫川取入口に於いて盛大な起工式を舉行すべく準備中

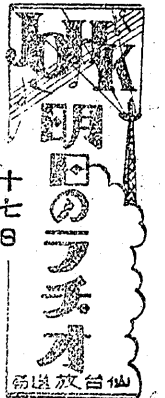
### 農家焼く

### 竈の不始末

石城郡小川村大字下小川字中柴六〇農中柴忠一方より今曉零時半頃發火同屋一棟及び離座敷を全焼して二時半頃鎮火したが原因は竈の不始末で損害五百圓

### 平窪兒童見學

石城郡平窪村小學校本年度高等科卒業生五十餘名は本日係訓導に引卒され平區裁判所を見學した



明日の部  
今晚も明日も北西の風曇り

### 今晚の部

後六、〇〇 童話劇「思ひ出」第二號 B K サークル  
後七、三〇 講演「婦人子供を通じての國民外交」松平頼壽  
後八、〇〇 浪花節「村正勘次」雲井雷太郎  
前二、〇〇 萬國婦人子

### 明日の部

後八、三〇 放送舞臺劇「雪暮夜入谷咄道」新歌舞伎より中繼片岡我當其他  
後九、三〇 全國ニュース  
氣象通報 番組豫告

### 明日の部

後八、〇〇 合唱 第一部 秋田師範、第二部 秋田女師、第三部 秋田高女生徒  
後八、二〇 吹奏樂とハーモニカ 第一部 秋田中學、第二部 秋田中商、工學校各ハーモニカバンド  
後八、四〇 胡弓獨奏「岡本新内」其他 西宮徳水  
後九、〇〇 民謡「荷方節」其他 大田永五郎其他

### 木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九

### 開業一週年記念!!!

### 新車購入致しました

### 高級貸切

### 不二タクシー

電話・332

### 新學期の裁縫用具は

### ハシモトヤへ!

### 田町 ハシモトヤ糸店

少年店員募集

### 平裁判たより

双葉郡廣野村大字上北迫字中平四番地農淺野文彌(三)は去る一月二十五日自宅に於て同村瀧本榮吉と飲酒口論の末側に在つた庖丁を以て斬付全治約二週を要する創を加へ傷害罪として罰金二十圓

### 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△難夫 二十五才 尋卒  
月十圓位(江名町某)  
△商店員 二十三才 尋卒  
月五六圓(四倉町某)  
△女中 十六才 尋卒 給料面談(平町某)  
△染物外交 三十六才 尋卒 給料面談(平町某)  
△洋品店員 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)

### 同郡上岡村大字本岡字山ノ神前十九番地農横田清

渡邊弘が無断で屋内に侵入したとて暴行をなし罰金二十圓

### 賣溜を拐帶

湯本町字上町米穀商佐藤政吉方雇人水戸市上市柳町生吉田梅吉(三)は去る十四日夜主人の不在中賣溜金十七圓餘を盗取送走したので店主より平署に取押方を願出た

### 平裁判たより

双葉郡廣野村大字上北迫字中平四番地農淺野文彌(三)は去る一月二十五日自宅に於て同村瀧本榮吉と飲酒口論の末側に在つた庖丁を以て斬付全治約二週を要する創を加へ傷害罪として罰金二十圓

# 茶室の静けさ

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫  
佐々木 見山

日向院の曲馬女  
兩國の橋の袂の隅田川に  
面せし水茶屋、これを並茶  
屋といふ、今で云へば喫茶  
店、水茶屋と云つても水の  
茶はのませません、これへ  
入つた来た松崎采女に渡邊  
金彌飛鳥山の花見で若い女  
に馬を取られたその馬の行  
方を知る爲にこんな所へ來  
ました

女「いらつしやいました今日  
は風も立ちませんで好いお  
天氣でございますさあどう  
ぞお上り遊ばして」  
松「よい天氣だナもう花も  
散つたであらう、あ、川を  
見ると清々いたす茶を貰ひ  
たい、それにナすしを取つ  
てくし」  
女「ハイあのお蝶ちゃんや  
與兵衛さんへ行つてね、い  
つもだけおすしを持つて來  
てくれとさう云つてお出で  
……」  
と小女に言ひ付けた  
女「只今おすもじが参りま  
す」  
松「大層兩國は人が出るの  
何時も續華な所であるが、  
今日は別して人が居るやう  
だ」  
女「日向院に嵯峨のお釋迦  
さまのお開張がございし



細工員細工それに肥  
後の喜三郎の生き人形、そ  
の他に芝居もございす  
松「それでは人も出るわけ  
だな」  
と云ひながらフト目につ  
いたはこの茶屋の入口に下  
つてゐる曲の繪ビラ若い女

が二人振袖を着て後鉢巻を  
して馬の上に立ち日傘をさ  
してゐる其當時の繪ビラで  
すから今から比べるとそれ  
は見にくいものですが昔は  
これより他にはない、木版  
の甚だ粗末なものの大曲馬と  
筆太に書いてあつて太夫小  
さん小衆としてゐる  
松「渡邊見ろよ、これは曲  
馬だ、しかもこの馬を馭す  
は若い女だ」  
金「ハテナ、此奴等ではな  
いか我々の馬に乗つて行つ  
たは」  
松「あるひはさうかも知れ

ぬ、曲馬をする程の者なら  
ばあの馬を取するにはたや  
すきことだ、これから参つ  
て二人を見るであらう」  
金「それが宜しからう」  
と話しをしてゐると

○「へお待ち遠さま」  
とすしが来た折しも表か  
ら入つて来たは五十二三に  
なる爺、印半纏を来てビラ  
を下げてゐる  
○「毎時御繁昌でお芽出度  
うございす」  
女「オヤ久さん、又何か出  
来たかね」  
久「なアにね、この曲馬が  
大層入るので日延べするこ  
とにしましたとの日延べの  
札を貼りに来ました」  
赤い紙に日延と書いた小  
札をビラの下に貼り縁臺へ  
腰を下し腹掛の隠しから一  
枚札を出して  
久「姐さんこれは本戸の通  
り札だ暇の時に見にお出で  
なさい」  
女「有難う此頃に行つて見  
るよ」  
久「女には敵はねえ、それ  
に二人とも容色が美いから  
藝が引立くる女の藝人は容  
色が美くなれば賣出せなせ  
ねえそれにねこの太夫は藝  
も上手だ、馬を自由自在に  
使ふまるで猫を扱ふやうだ  
ね、不思議なことには馬も  
よく云ふ事を聞く、しかし  
あの畜生はなかく利口だ  
櫓へ上つて行く時に十三段  
の階段を上る、其時にお囃  
しが太鼓をたたく、そのた  
たく發数は何個ときまつて  
ゐる一つでも多いと馬は上  
まで行かねえ、又少くとも  
行かねえ何個打つといふそ  
の發数を覚えてゐるのは感  
心だ」  
女「オヤさう、まア利口な  
ものだね」  
久「とてもわつちのやうな

人間は馬ほどの智慧はねえ  
それにおまへさん今度太夫  
の乗つてゐる馬は大したもの  
のだ、お大名さまでなければ  
ばこんな馬には乗れまいと  
太夫さんが然う云つてゐま  
したよ」  
女「どんなお馬に乗るの」  
久「まア行つて見て御覽な  
さい、毛の艶のよいこと光  
り輝いてゐます、好んで買  
ふことになれば百兩以下で  
は伯樂に賣らねえさうだ」  
女「何處からそんな馬を伴  
れて来たの」  
久「そいつは貰つて来たん  
だテ何サお大名から貰つた  
わけではねえ、飛鳥山の花  
見に行つた時に侍に酒を侷  
められてその酒を飲んだ褒  
美に貰つて来たさうだ」  
それを聞くと松崎采女と  
渡邊金彌の目がゲル／＼と  
動きました。

上田 外科醫院

平町 南町  
電話二二九番

御贈 答品

産名城警

鯉魚節



最優最 日大最 本生本 命盛電 代理平 店榮番  
志賀目 丁四平 一三番

咽喉科專門

入院 應需  
平町田町七〇番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
電話六九一

お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚

平町一丁目  
電話一四一番

昭和三河産業博覽會 金牌受賞  
昭和三河産業博覽會  
かまぼこ製造  
お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚

入院應需 渡部外科

全外科 醫學博士 渡部義夫  
小兒科 女 醫 渡部きい子  
内科